保証とアフターサービス（つづき）

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-76**

受付時間：365日　9:00～20:00

携帯電話・PHSなど　022-774-5402（通話料：有料）

FAX　022-224-6801（通信料：有料）

• お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
• 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

東芝クリーナー保証書

持込修理

形名	VC-Y70C		
★お客様	お名前	ふりがな	様
	ご住所	〒□□□-□□□□	
	電話	市外　市内　番号　呼	
保証期間	本体	1年	★お買い上げ日　年　月　日から
★ご販売店	住所・店名	電話	

東芝ホームアプライアンス株式会社　リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）　電話（03）3257-5864

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

修理メモ 修理年月日	修理内容	担当
年　月　日		
年　月　日		

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただくことをお約束するものです。
保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
（イ）誤ったご使用や不当な修理·改造で生じた故障および損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障および損傷。
（ハ）火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障および損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
（ヘ）一般家庭用以外（たとえば寮、病院や理容院、美容院および業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
（ト）保証書の製造番号と本体の製造番号が一致しない場合。
（チ）車輌、船舶などに備品として使用した場合に生じる故障および損傷。
2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
3. 修理のために取りはずした部品は特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、東芝生活家電ご相談センターへご相談ください。

· 保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
· 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させますので、ご了承ください。

東芝ホームアプライアンス株式会社
リビング機器事業部
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名
VC-Y70C

もくじ

保証書付　保証書はこの取扱説明書の16ページについておりますので、お買い上げ日、販売店などの記入をお確かめください。

● このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
● この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
● お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
● 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意 必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表示	説明
⚠警告	「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。
⚠注意	「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

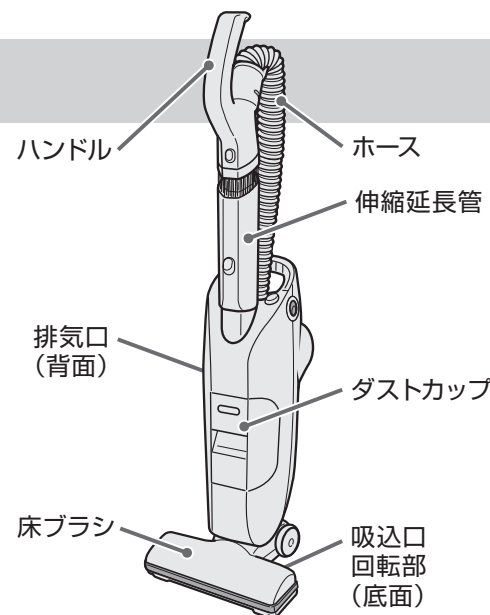
図記号	説明
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

火災・感電・やけど・けがなどを防ぐために

分解禁止

絶対に改造はしない また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない

・火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

指示

●**電源は交流100V 定格15A 以上のコンセントを単独で使う**
・火災・感電の原因。
・**延長コードは使わないでください。**

●**電源プラグとコンセントのホコリなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布でふき取る**

●**電源プラグは根元まで確実に差し込む**
・感電・発熱による火災の原因。

プラグを抜く

●**ゴミ捨て時やお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く**
・感電・けがの原因。

ぬれ手禁止

●**電源プラグはぬれた手で抜き差ししない**
・感電・けがの原因。

禁止

●**電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない**
・感電・ショート・発火の原因。

●**電源コードは黄マーク以上引き出さない**

●**電源コードを傷付けない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、加工しない、重い物を載せない、はさみ込まない**

●**電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない**
・電源コードの損傷による火災・感電の原因。

⚠警告

指示

異常・故障時にはすぐに使用を中止する

発煙・発火・感電の原因。
すぐに「切」スイッチを押し、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

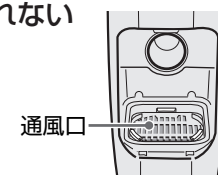
●スイッチを入れても、ときどき運転しない時がある。
●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●運転中ときどき止まる。
●運転中に異常な音がする。
●本体が変形したり異常に熱い。
●ホースが破れている。
●こげくさい“におい”がする。

ご使用・取り扱いについて

禁止

●**灯油、ガソリン、シンナー、可燃性ガス（スプレー）など引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物、じゅうたん洗浄剤などの泡状のものは吸わせない**
・爆発・火災・感電の原因。

●**ダストカップを取り付けずに運転をしない**
・けが・故障の原因。

●**通風口に棒などを入れない**
・けが・故障の原因。

接触禁止

●**床ブラシの回転部など裏面や本体の排気口付近には触れない**
・手など、けが・やけどの原因。
・**特に小さなお子さまにご注意ください。**

水ぬれ禁止

●**水回りや風呂場では絶対に使わない**
・感電の原因。

●**本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（お手入れカバー・回転部を除く）は水洗いしない**
・感電・故障の原因。

⚠注意

火災・感電・やけど・けが・破損などを防ぐために

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

指示

●**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く**
・プラグの刃の変形、電源コードの断線による感電・ショート・過熱による発火の原因。

●**電源コードは、まっすぐ引き出す**
・電源コードを上に引っ張りながら引き出すと、本体の引き出し部とのこすれによって電源コードが破損します。
・感電・発火の原因。

●**電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う**
・電源プラグが当たり、けがの原因。

プラグを抜く

●**クリーナーを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く**
・けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

ご使用・取り扱いについて

禁止

●**引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナー）の近くで使わない**
・爆発・火災の原因。

●**吸込口をふさいで、長時間運転をしない**
・過熱による本体の変形・発火の原因。

●**排気口をふさがない**
・火災の原因。

●**床ブラシと本体の間に手を入れない**
・手など、けがの原因。
・**特に小さなお子さまにご注意ください。**

●**伸縮延長管を伸ばしたまま保管しない**
・本体が倒れ、けが・床の傷付きの原因。

●**ハンドルを持って運ばない**
・本体の落下によるけが・床の傷付きの原因。

●**ホースを持って本体を吊り下げない**
・本体の落下によるけが・床の傷付きやホースの変形の原因。

火気禁止

●**火気に近づけない**
・本体や電源コードなどの変形によるショート・発火の原因。

お願い

業務用に使わない、掃除以外に使わない

- このクリーナーは家庭用です。

次のものは吸わせない

- **フィルターの目詰まり・異臭の発生・本体の故障・ダストカップの傷付きの原因になります。**
- ・**水などの液体、吸湿剤（湿気取り）など、水分を含んだゴミ。**
- ・ペットなどの排泄物が付着したもの。
- ・ガラス、針、ピン、刃物など鋭利なもの。
- ・多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
- ・食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。

ホースを無理に引っ張ったり、折り曲げたりしない

- ホースが変形することがあります。

ホースを引っ張った状態で保管しない

- ホースが伸びて、元に戻らなくなることがあります。

掃除の際は電源コードを十分に引き出す

- 電源コードを黄マーク以上無理に引っ張ると、断線の原因になります。

床ブラシについて

- **力を入れずに片手で軽くすべらせる（たたみは目にそってすべらせる）**
  床・たたみに押し付けると傷付き、壁・家具などに強く当てると色が付きます。
  杉・ひのきなどやわらかく傷付きやすい木床や、床用ワックス・つや出し床用洗剤をお使いのときは、床にこすり傷が付くことがあります。
- **床ブラシ裏面の車輪が摩耗しているときは使わない**
  床・たたみを傷付けることがあります。お掃除の前に点検してください。
- **砂ゴミ上で使った後は、裏面の車輪・からぶきブラシに付いた砂ゴミを取り除く**
  床を傷付けることがあります。

床ブラシをはずして使わない

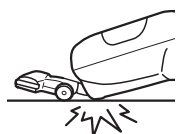
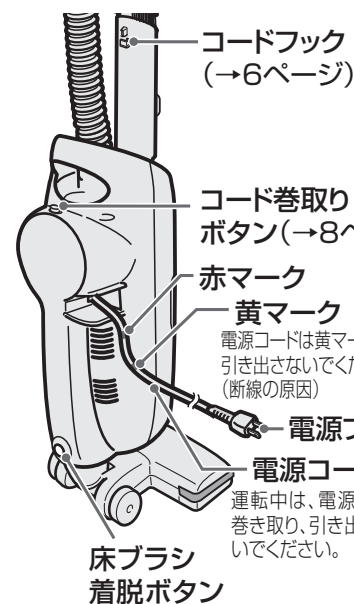
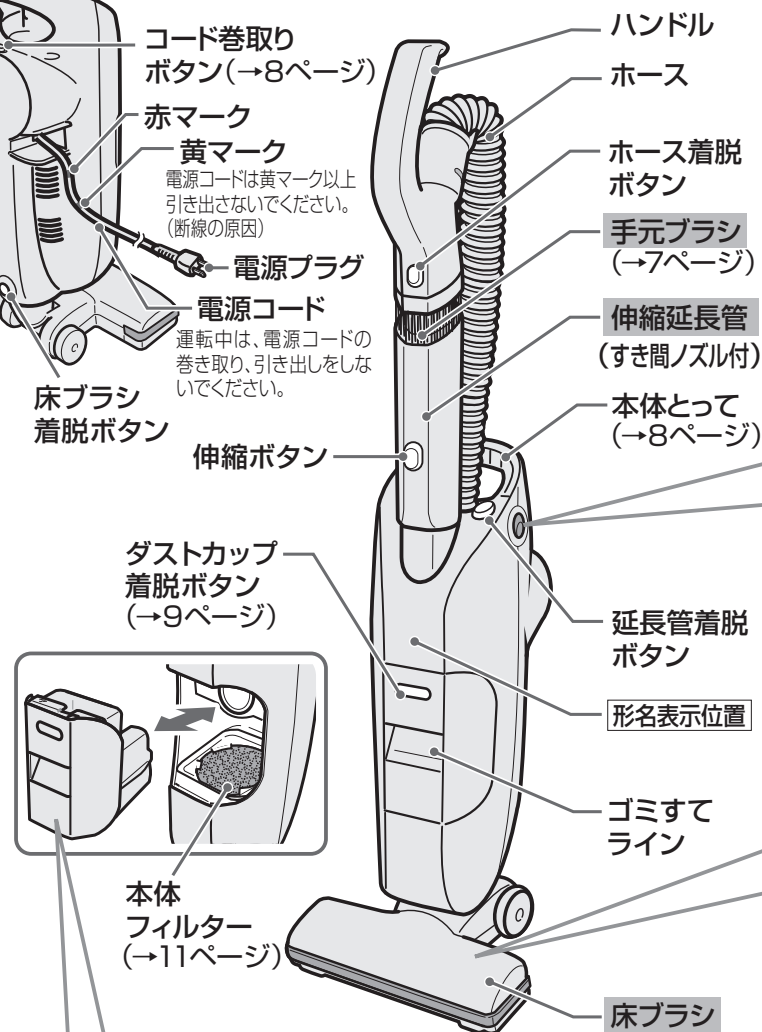
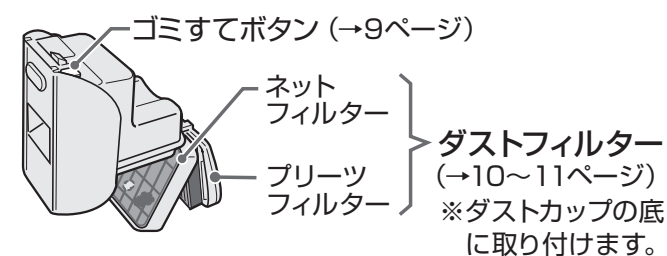
- 排気風がゴミを吹き飛ばすことがあります。

本体を倒しすぎない

- 床面を傷付けることがあります。

各部のなまえ

ダストカップ

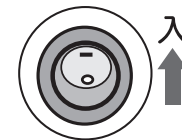
- ゴミすてボタン（→9ページ）
- ネット フィルター / プリーツ フィルター：ダストフィルター（→10～11ページ）※ダストカップの底に取り付けます。

お手入れブラシ

フィルターのお手入れにお使いください。

お手入れブラシ

収納の際はお手入れブラシのフックを外側に向けて、突起にしっかり差し込んでください。

⚠警告	接触禁止	床ブラシの回転部など底面や本体の排気口付近には触れない ・手など、けが・やけどの原因。 ・特に小さなお子さまにご注意ください。

本体スイッチ

入	切
電源が入りモーターが回転する	電源が切れモーターが停止する

お願い

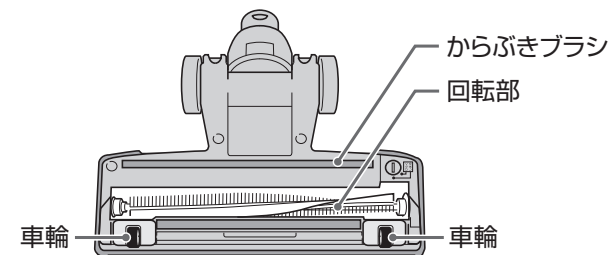
電源プラグをコンセントに差し込むときは、「切」の位置にしてください。

- スイッチを「入」にするときは、ハンドルまたは本体とってを持ってください。
  モーターが回転する反動で本体が倒れてけがをしたり、床を傷付けたりすることがあります。

床ブラシ（前取りエアーヘッド）

回転部について

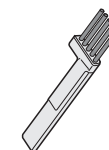
ダストカップがゴミでいっぱいになると回転部が回りにくくなります。このようなときは、ゴミを捨ててください。（→ 9 ページ）

- ゴミの種類によっては、ゴミがいっぱいになっていなくても回転部の回転が止まることがあります。
- ホットカーペットやじゅうたんの種類（毛足が長いもの、植毛密度が高いもの）によっては、回転部の回転が止まることがあります。

付属品をご確認ください

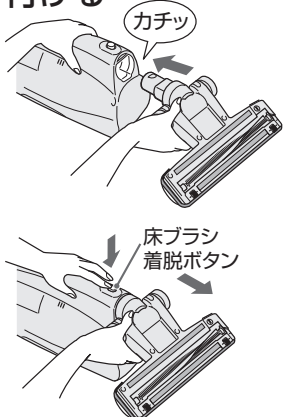
標準付属品

- 上図で ▭ の中になまえが書かれているものです。

応用付属品

お手入れブラシ（1 本）

各部の組み立てかた

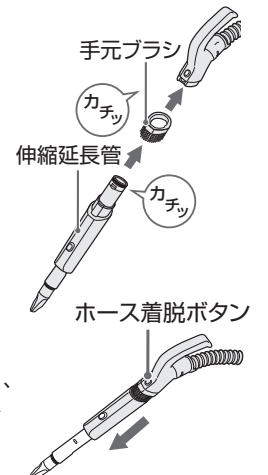
1 床ブラシを本体に取り付ける

- 本体を寝かせ、「カチッ」と音がするまで確実に差し込みます。

■床ブラシをはずすとき

本体を寝かせ、本体の床ブラシ着脱ボタンを押しながら、引き抜きます。

2 手元ブラシ・伸縮延長管をハンドルに取り付ける

❶ハンドル先端に手元ブラシを差し込む
- 「カチッ」と音がするまで差し込みます。

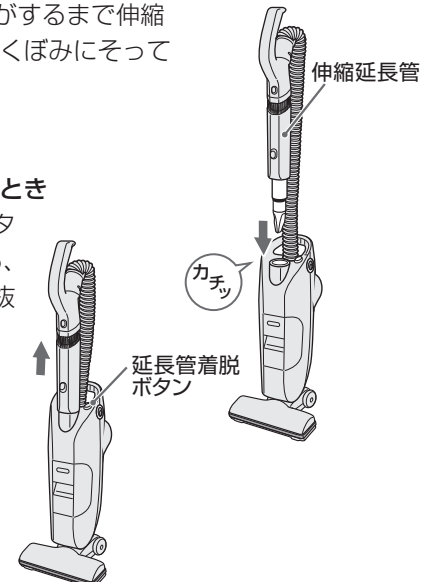
❷その先に伸縮延長管を差し込む
- 「カチッ」と音がするまで差し込みます。

■伸縮延長管をはずすとき

ホース着脱ボタンを押しながら、伸縮延長管をハンドルから引き抜きます。

3 2で組み立てたものを本体へ取り付ける

- 「カチッ」と音がするまで伸縮延長管を本体のくぼみにそって取り付けます。

■本体からはずすとき

延長管着脱ボタンを押しながら、本体から引き抜きます。

お掃除のしかた

床ブラシを使うお掃除では、ホースを伸縮延長管に取り付けてお使いください。

1 伸縮延長管を引きのばす

伸縮ボタンを押しながら、ハンドルを「カチッ」と音がするまでゆっくり引き上げる。

お願い

●伸縮延長管を勢いよく伸縮させないでください。（故障の原因）

2 電源プラグをコンセントに差し込む

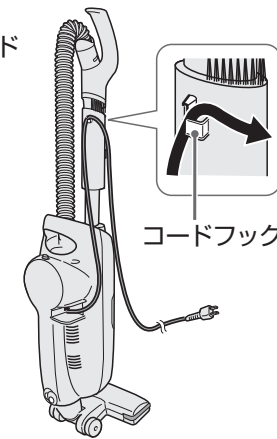
スイッチが「切」の位置になっていることを確認してから、電源コードを引き出し、電源プラグをコンセントに差し込む。

●電源プラグは根元まで確実に差し込みます。

3 伸縮延長管を伸ばした状態で 電源コードをコードフックに引っかける

電源コードをたるませ、コードフックにはめ込む。

お願い

●伸縮延長管を本体からはずすときは、先に電源コードをコードフックから取りはずしてください。

4 床ブラシを押さえながら 本体を手前に倒し、スイッチを「入」にする（お掃除できます）

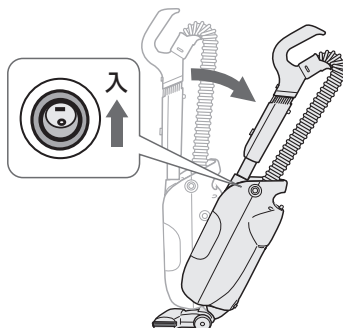
●本体を立てた状態では、本体と床ブラシがロックされています。

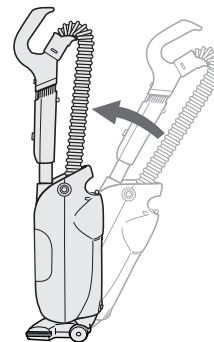
伸縮延長管の長さ調節のしかた

伸縮ボタン

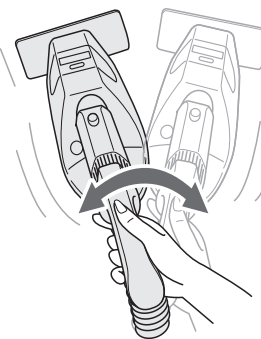
伸縮ボタンを押しながら、延長管の長さを調節してください。長さは2段階です。

お願い

●運転中は吸込口をふさいで伸縮ボタンを押さないでください。急に縮んでけがをすることがあります。

本体と床ブラシのロックのしかた

●本体に床ブラシを取り付けた状態で、床ブラシの中央に本体の中央がくるように本体を立てていくと、本体と床ブラシがロックされます。

お使いのときは、床ブラシを押さえながら本体を手前に倒し、ロックをはずしてください。

ポイント

●ハンドルを左右にねじると、床ブラシの向きをそれぞれの方向に変えることができます。

お願い

●床面によっては倒れやすいことがあります。そのような床面で本体から離れるときは、本体を寝かせてください。

●床ブラシを使ってお掃除するときは、本体と床ブラシのロックをはずしてください。
ロックしたままでは、床面を傷付けることがあります。

●**綿ボコリが多いときは、ネットフィルターに綿ボコリが付着して吸込力が低下することがあります。**そのときは、「ゴミの捨てかた」に従って、取り除いてください。（→９ページ）

手元ブラシを使ったお掃除

1 スイッチを「切」にして、本体と床ブラシをロックする

2 ホース着脱ボタンを押しながらハンドル部分を引き抜く

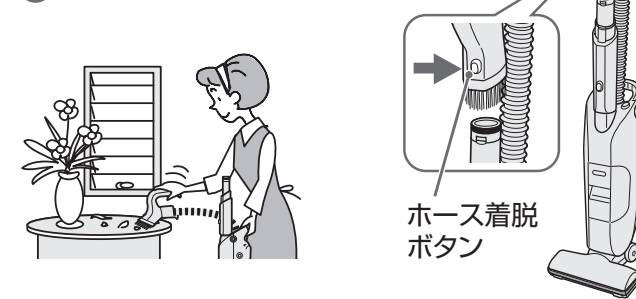
3 スイッチを「入」にする

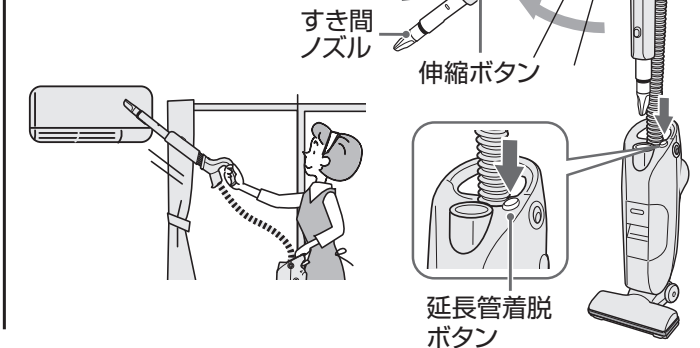
すき間ノズルを使ったお掃除

1 スイッチを「切」にして、本体と床ブラシをロックする

2 延長管着脱ボタンを押しながら延長管を引き抜く

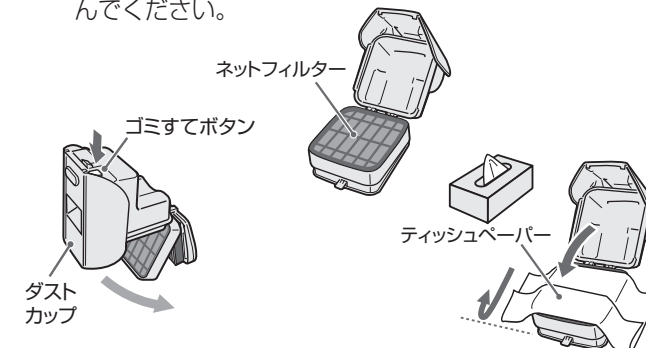
3 スイッチを「入」にする

お願い

●本体とってを持ってお掃除してください。本体が倒れてけがをしたり、床面を傷付けることがあります。

●本体と床ブラシは必ずロックしてください。ロックしていないと、吸い込むことができません。

ティッシュペーパーの取り付けかた

1 ダストカップを取り出す

2 ゴミすてボタンを押し、底面を開き、ネットフィルターの上にティッシュペーパーをのせる

●ティッシュペーパーはネットフィルターに合わせてたたんでください。

3 底面を「カチッ」と音がするまで閉め、本体にセットする

●はみ出したティッシュペーパーは上側に折ってください。

お知らせ

●ティッシュペーパーを取り付けると、ダストフィルターへの繊維ゴミやちりの付着が減りダストフィルターのお手入れを軽減できます。

お願い

●ティッシュペーパーを取り付けると、通常より早く吸込力が低下します。ティッシュペーパーはこまめに新しいものと交換してください。

●ぬれたティッシュペーパーは使わないでください。（故障の原因）

（つづく）

お掃除のしかた（つづき）

上手なお掃除のしかた

- 大きなゴミや包装用フィルムなどはあらかじめ取り除いてからお使いください。
  - 床ブラシやホース･伸縮延長管などのゴミ詰まり防止になります。
- 床ブラシやホース・伸縮延長管は軽くすべらせるようにお使いください。
- 床やたたみなどをお掃除するときは、目にそってお使いください。
  - 楽に動かすことができ、傷付き防止になります。
- 新しいじゅうたんでは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っているうちに遊び毛は徐々に少なくなります。

お掃除の後は

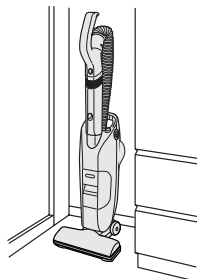
保管のしかた

1 電源プラグをコンセントから抜く

2 電源プラグを持ち、コード巻取りボタンを押しながら電源コードを巻き取る
- 巻き取れないときは、電源コードを 1 ～ 2m 引き出して再び巻き取ってください。

3 床ブラシに対し本体を垂直に立て、本体と床ブラシをロックする
- 正しくロックされないと転倒のおそれがあります。

4 伸縮延長管を縮めてから保管する （→ 6 ページ）

お願い
- 伸縮延長管を勢いよく伸縮させないでください。（故障の原因）

倒れるおそれのある次の場所では保管しないでください
- 毛足の長いじゅうたん
- 傾いた床
- 凹凸のある床
- 階段の上など

⚠注意

伸縮延長管を伸ばしたまま保管しない
- 本体が倒れ、けが・床の傷付きの原因。

移動するときは……

●本体とってを持ってください。

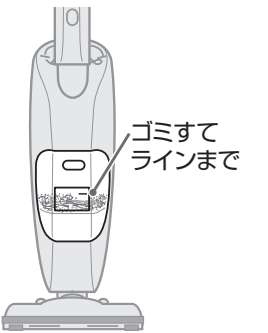
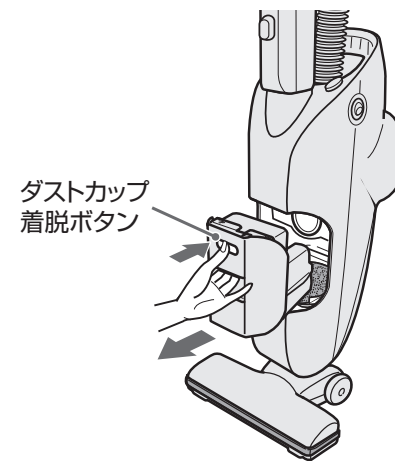
ハンドル・ホースを持っての移動は、本体と伸縮延長管の取り付けが悪いと本体が落下してけがをしたり、床面を傷付けることがあります。

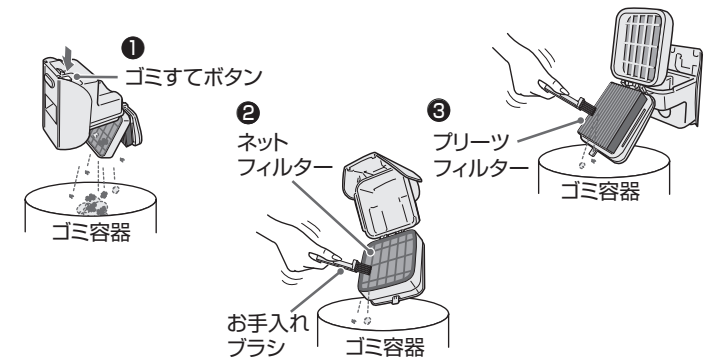
お願い
- 直射日光のあたる場所に保管すると、本体が変色することがあります。そのような場所には保管しないでください。
- ビニールタイルなどの床面に保管すると、車輪の色が付くおそれがあります。薄い敷物を敷いてください。

ゴミの捨てかた

- お掃除が終わったらこまめにちり落としを行い、ゴミを捨てましょう。
- ゴミすてラインを超える前にゴミを捨ててください。ゴミすてラインを超えると吸込力が低下します。
- ゴミの種類によっては、ゴミすてラインまでゴミがたまる前に吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ちり落としを行い、ダストカップ内のゴミを捨て、ダストフィルターのお手入れをしてください。（→10～11ページ）

ゴミすて
ラインまで

お手入れの前にはスイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

1 ダストカップ着脱ボタンを押しながら
ダストカップを取り出す

2 フィルターのちり落としをする
- お手入れブラシをプリーツフィルターの突起に合わせて、5 回程度往復させてください。

3 ダストカップを大きめのゴミ袋やゴミ容器の中に入れ
ゴミすてボタンを押す
- ゴミを捨てる前にダストカップ側面をたたくと、ゴミが落ちやすくなります。
- ゴミすてボタンを押すとダストカップの底面が開き、中のゴミを捨てることができます（❶）。
- ダストフィルター（ネットフィルター・プリーツフィルター）に付いたゴミはお手入れブラシで取り除いてください（❷、❸）。

4 ダストカップの底面を「カチッ」と音がするまで閉める
- ダストカップの底面が開いた状態でゴミすてボタンを押しても底面は戻りません。

5 本体にダストカップをセットする
- 手で本体を支えながら、ダストカップを「カチッ」と音がするまで押してください。

お願い
- ダストカップの底面は直接手では開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
- ゴミを捨てても吸込力が弱いときはお手入れを行ってください。（→10～12ページ）

お手入れのしかた

⚠警告

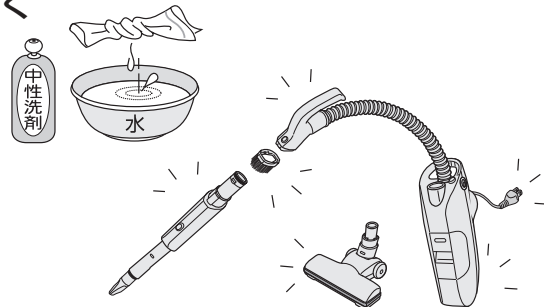
水ぬれ禁止

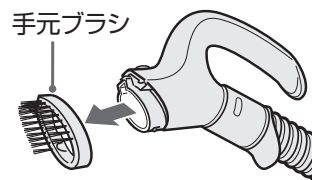
本体・ホース・伸縮延長管・床ブラシ（お手入れカバー・回転部を除く）は水洗いしない
・感電・故障の原因。

ゴミを捨てても吸込力が弱いときは、こまめにお手入れをしてください
性能・品質を保つために、次のことは守ってください
●お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。（ヒビ割れ・変色・色落ちの原因）
●毛のかたいブラシで洗わないでください（傷付きの原因）
●暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。（ヒビ割れ、変形の原因）
●**ぬれたままで使わないでください。乾燥時間の目安は日陰の風通しの良い場所で約1日（24時間）です。（故障の原因）**

お手入れの前にはスイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体・付属品

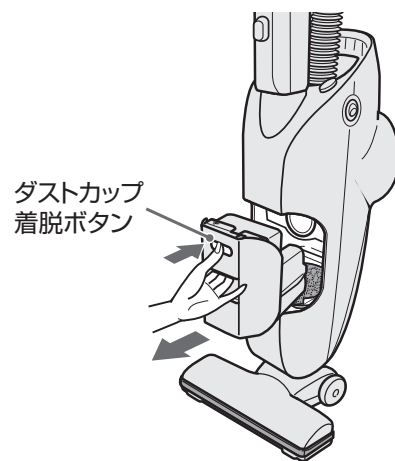
水または食器洗い用中性洗剤をふくませた布でふく

手元ブラシ

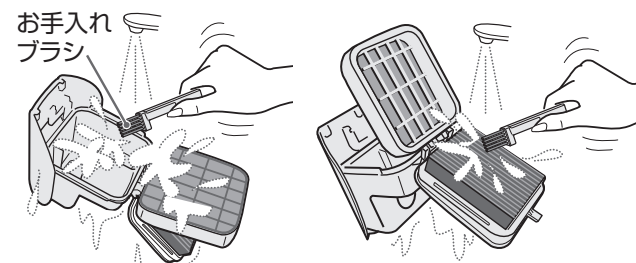
1 手元ブラシを手前に引き抜く

2 水洗いをし、十分に乾燥させる

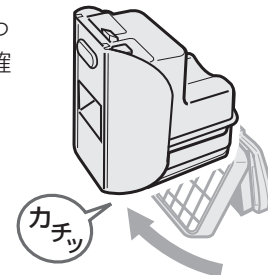
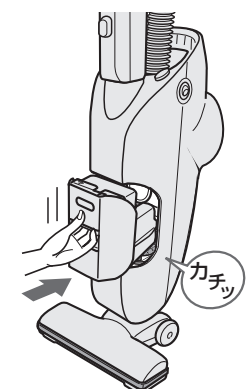
3 手元ブラシを「カチッ」と音がするまで差し込む

カチッ

ダストカップ・ダストフィルター（プリーツフィルター・ネットフィルター）

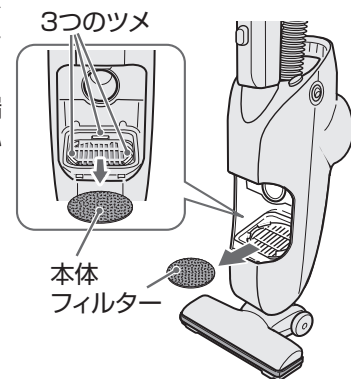
1 ダストカップ着脱ボタンを押しながら、**ダストカップを取り出す**

2 ダストカップの中のゴミを捨て、**ダストフィルターに付いたゴミをお手入れブラシで取り除く**

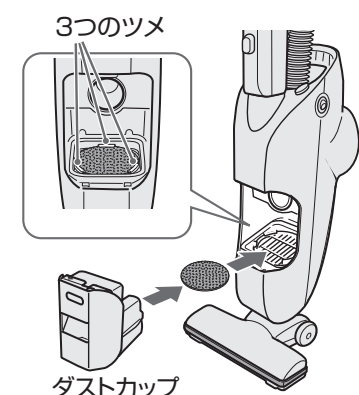
3 **ダストカップ・ダストフィルターを水洗いし、十分に乾燥させる**
●ダストカップはゴミすてボタンを押してダストカップの底面を開き、中まで洗う。
●プリーツフィルターは、広げながらお手入れブラシで洗い、奥に詰まったゴミまで十分に洗い流す。

●つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。
●乾燥は底面を開いた状態でしてください。

4 **ダストフィルターをダストカップに取り付ける（底面を閉める）**
●ダストカップの底面がしっかり閉まっていることを確認してください。

5 **本体にダストカップをセットする**
●手で本体を支えながら、ダストカップを「カチッ」と音がするまで押してください。

お願い
●吸込力を持続させるために、月に２度を目安にお手入れしてください。（お手入れの頻度はゴミの種類や使用頻度により異なります）
●割りばしなどの突起物でゴミを取らないでください。（破損の原因）
●ネットを強く押して洗わないでください。（破損の原因）
●お手入れをしてもにおいが取れないときは、においの付いている部品の交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。

本体フィルター

ダストカップ・ダストフィルターのお手入れをしても吸込力が弱いときは、本体フィルターをお手入れしてください。

1 **本体から本体フィルターをはずす**
❶ダストカップ着脱ボタンを押し、ダストカップを取り出す。
❷本体フィルターの端を引き出し、ツメからはずす。

2 **水で押し洗い後、陰干しで十分に乾燥させる**
●ぬれたままで使わないでください。（吸込力の低下・においの発生・故障の原因）

3 **本体フィルターを本体に取り付ける**
❶本体フィルターを３つのツメにはめる。
❷ダストカップを取り付ける。
●フィルターは必ず取り付けてください。（故障の原因）

お願い
●本体フィルターは強く引っ張らないでください。（破損の原因）

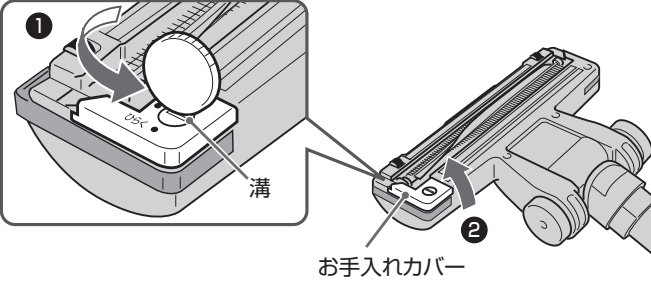
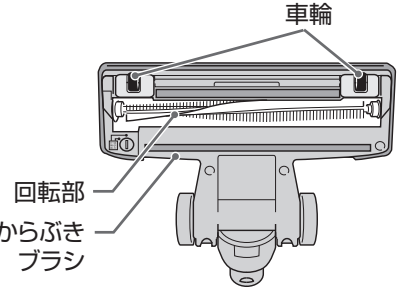
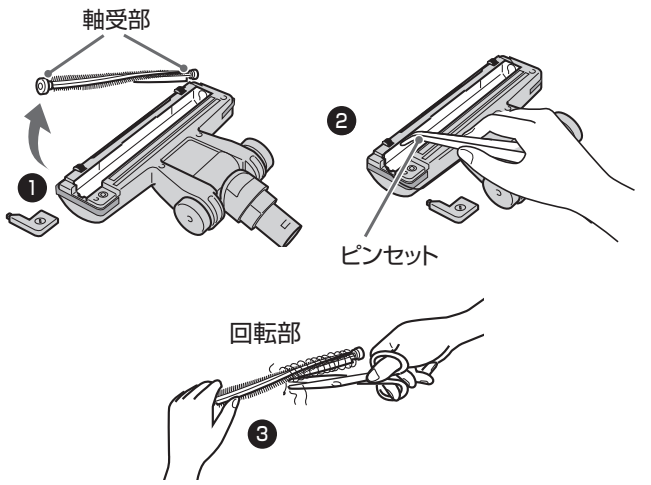
（つづく）

お手入れのしかた（つづき）

床ブラシ（前取りエアーヘッド）

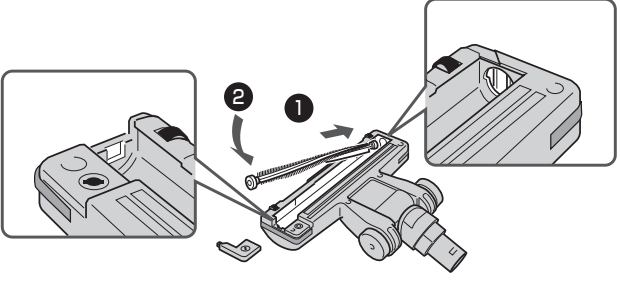
●床ブラシの回転部にゴミがからむと、回転部が回らなくなります。週に１～２度点検、お手入れをしてください。
●床ブラシは、本体を寝かせてからはずしてください。

1 床ブラシを裏返し、お手入れカバーをはずす

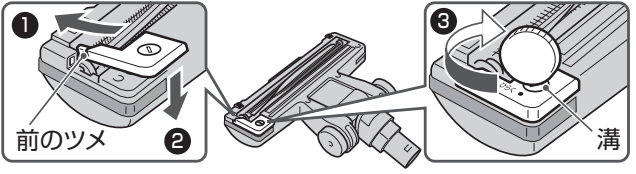
❶溝にコインを入れ、「ひらく」の位置に合わせる。
❷お手入れカバーを持ちあげる。

2 回転部をはずし、ゴミを取り除く

❶回転部を持ちあげ矢印の方向に引き抜く。
❷からぶきブラシ・車輪・床ブラシ内についているゴミを取り除く。
❸回転部に糸くずや毛がからみついたときは、はさみなどで取り除く。

3 回転部を水で洗い、陰干で十分に乾かす

●回転部、お手入れカバー以外は水洗いしないでください。（故障の原因）

4 回転部を取り付ける

❶軸受部の小さい方を矢印の方向に取り付ける。
❷回転部を取り付ける。
（回転部には左・右の方向性がありますので、逆向きには取り付けられません。）

●回転部の軸受部に注油しないでください。（回転不良の原因）

5 お手入れカバーを取り付ける

❶お手入れカバー側にある前のツメを合わせる。
❷矢印の方向にセットする。
❸溝にコインを入れ、「しまる」の位置に合わせる。
●お手入れカバーは、必ず取り付けてお使いください。
●お手入れカバーに無理な力を加えないでください。

お願い

●車輪が磨耗していると、床、畳を傷付けることがあります。お手入れの際に点検し、磨耗しているときは、床ブラシを使わず、お買い上げの販売店を通じて交換してください。（有料）

保護装置について

モーターの過熱を防ぐため、本体内部には運転を止める保護装置が付いています。
次のようなときは、保護装置が働きます。お手入れをしてください。

本体の保護装置が働くとき

●ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けたとき
砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミ、通気性の悪いゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置が働くことがあります。
●ホース・伸縮延長管・床ブラシなどにゴミが詰まったまま運転し続けたとき
●すき間ノズルを使い、運転し続けたとき
●夏期など室温が 35℃を超えるとき
●吸込口や排気口をふさいで運転し続けたとき

直しかた

1 スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く

2 ゴミを捨て、床ブラシやホース、ダストカップ取付部に詰まったゴミを取り除く
●本体を寝かせ、床ブラシやホース、伸縮延長管に詰まったゴミを割りばしなどで取り除く

3 涼しい場所におく

約 1 時間後、保護装置が解除され、再び使えます。

お困りのときは

⚠警告

絶対に改造はしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
・火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

●ご使用中に異常が生じたときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べて、直してください	参照ページ
モーターが回転しない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	―
	●本体の保護装置が働いています。ダストカップがゴミでいっぱいになっていたり、ホースや床ブラシ、伸縮延長管にゴミが詰まっていませんか。	13
吸込力が弱い	●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。	9
	●ダストフィルターの汚れがひどくありませんか。→お手入れしてください。	10～11
	●ホース・床ブラシ・伸縮延長管にゴミが詰まっていませんか。 →ホース・床ブラシ・伸縮延長管をはずしてゴミを取り除いてください。	4～5
	●本体フィルターの汚れがひどくありませんか。→お手入れしてください。	11
	●床ブラシ使用中、ホースが伸縮延長管に取り付けられていますか。 →しっかり取り付けてください。	4～5
床ブラシ回転部が回転しない	●ブラシ本体とお手入れカバーの間にすき間ができていませんか。 →お手入れカバーを取り付け直してください。	12～13
	●大きなゴミや薄い敷物などを巻き込んでいませんか。→取り除いてください。	12～13
	●回転部周囲に糸くずがたくさん巻き付いていませんか。→取り除いてください。	12
電源コードが巻き取れない/引き出せない	●電源コードが片寄って巻き取られていませんか。 →1～2m引き出して、再度巻き取ってください。	8
	●電源コードがからんでいませんか。 →コード巻取りボタンを押しながら、「巻き取る」「引き出す」操作を2～3回繰り返してください。	8
排気がにおう	●湿ったゴミを吸い込んでいませんか。 ●プリーツフィルターを水洗いした後、十分に乾燥しましたか。 ●プリーツフィルターが目詰まりしたまま使っていませんか。	10～11

上の処置をしても異常のある場合は、15～16ページの保証とアフターサービスをご参照ください。

●お使いのとき、本体および電源コード、排気風が熱く感じてきますが異常ではありません。モーターの熱のためです。
●ゴミがたまってくるとモーターの回転数が高くなり、音が少し大きくなりますが異常ではありません。
●ご自分での修理は、危険な場合がありますから絶対にしないでください。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	回転部のブラシ毛
ダストカップ	(財)日本食品分析センター	JIS Z 2801	99%以上	樹脂に練り込み	プラスチック
手元ブラシ	(財)日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に練り込み	ブラシ毛

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	900W	255 mm	250 mm	980 mm	3.7kg (床ブラシ、伸縮延長管を含む)	340W	69dB	0.3L	5m
		(使用時)							
		255 mm	250 mm	870 mm					
		(収納時)							

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

保証書（一体）

● 保証書は、この取扱説明書の16ページに記載されています。
● 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
● **保証期間はお買い上げの日から1年間です。**

補修用性能部品の保有期間

●クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後6年です。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

●修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
●修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
●部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

14ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、運転を停止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ		
	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　―

長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●運転中に異常な音や振動がする。
●本体ケースが異常に熱い。
●こげくさい臭いがする。
●その他の異常がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

（つづく）